

税 理 士 講義録	科目	財務諸表論	コース	アウトプット 強化ゼミ	回数	第1回
-----------	----	-------	-----	----------------	----	-----

配布物	★ミニテスト：あり [] なし ★実力テスト：あり [] なし ◇配布物なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説 ★その他のレジュメ []	講師	小室 先生
-----	--	--------------------------------------	----	-------

テキスト ページ	黒 板 内 容
	○ 財表の試験で重要なこと 税理士試験は競争試験であり、相対評価。 → <u>他の受講生に負けないこと</u>が重要である。 → <u>他人の解答した箇所</u>をし、かつ解答することが大事。 A、Bランク(C、D) ○ 理論問題の解法の仕方 必要な要素 読む力 + 書く力 (1) 読む力 → (① 問題はゆ、くソ読むこと ② 解答要求及びヒントに印。 ③ 応用問題は学習内容の中から考えること。 (2) 書く力 → (① 解答要求に則した解答の作成。 ② 結論は重視した端的な解答。 ③ うそを書かない + ポイントを引用

税 理 士 講義録

科目 財務諸表論

コース アウトプット
強化ゼミ

回数 第1回

配布物

★ミニテスト：あり []

なし

★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説

★実力テスト：あり []

なし

★その他のレジュメ []

◇配布物なし

講師

小室

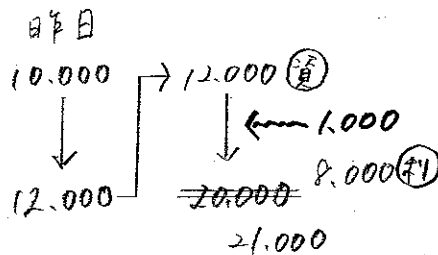
先生

テキスト
ページ

黒 板 内 容

○ 資本利益区別 の 原則

(1) 概要



見解1

今日の利益の資本 今日の利益

12,000	2,000
--------	-------

見解2

維持拘束 処分可能

10,000	10,000
--------	--------

(2) 取引区別の原則

一
会
計
期
間

期首の自己資本 — (運用取引) —→ 損益取引

(増減取引)

↓
資本取引

適正な期間損益計算

(3) 剰余金区別の原則

全
期
間

払込資本
資本金
資本剰余金
留保利益
利益剰余金

資本取引から生じた
維持拘束すべきもの

財政状態等の適正開示

損益取引から生じた
処分可能なもの